

# 人と動物の環境づくり

NO,13号 平成27年4月～平成28年7月まで

皆さまのご理解・ご協力・ご支援を頂き活動する事ができましたこと、心より御礼申し上げます。



災害の多い昨今ですが、東日本大震災の爪痕が未だ残る中、またもや広島市の土砂災害、そして、熊本・大分地震で多大な被害に遭われた方々が一日も早く日常生活が取り戻せることをお祈りいたしております。

## 平成27年度の活動内容の報告

●「飼い主のいない猫対策」を重点に活動いたしました。

※TNR活動（232頭） 猫保護数：54頭・内死亡1 新飼主へ譲渡数：46頭 残り7頭は会が預かり ※Trap（捕獲器で野良猫を捕獲）→Neuter（不妊手術をする）→Return（元の生活場所に戻す）

●神奈川県動物保護センターより老犬1頭引き出し

●飼養者（認知症、心的病）が飼育放棄や遺棄されたもの5頭 合計6頭を新飼主へ譲渡

○その他	7月24日	○犬不適正飼養について「炎天下繋ぎっぱなし」対応。伊勢原市某幼稚園
	8月2日	○松田湯の沢自治会「地域猫」活動説明会へ
	8月5日	○ボランティア受け入れ 神奈川県動物保護センター見学と意見交換 秦野市内中学生と厚木市高校生
	9月5日	○松田湯の沢「地域猫」今後の活動方針について会合
	11月3日	○動物フェスティバル（パザー開催・譲渡会、動物の適正飼養普及・啓発）
	12月8日	○総合学習・講演「動物とともに生きる」秦野市立南小学校にて
	平成28年1月17日	○「飼い犬（柴）が、猫犬に咬まれた」について 秦野市八沢
	1月25日	○総合学習：「命の授業」紙芝居 秦野市立南小学校にて
	1月31日	○譲渡会 茅ヶ崎保健福祉事務所にて
	2月2日	○神奈川県保健福祉局生活衛生課主催：動物愛護監視員研修会にて「地域猫活動実例報告」
	2月23日	○秦野市猫適正飼養ガイドライン策定について意見交換会（第1回） 秦野市健康づくり課、秦野市獣医師会、秦野市自治連合会会長 平塚保健福祉事務所 秦野センター環境衛生課 秦野市環境資源対策課
	5月31日	○秦野市猫適正飼養ガイドライン策定について意見交換会（第2回）
	6月9日	○福祉講演 テーマ「感情、一人ひとりの命の重さ」 秦野市立南中学校にて

## ■ノラ猫対策事業 通年

※今抱える「野良猫」問題を解決するには、不妊・去勢手術が鍵とっています。



畑の納屋で生まれた6匹の子猫たち

- ★自然体が良いので手術はしない
- ★猫の習性（多産系）が知られていないこと
- ★不妊化手術料が高いこと
- ★猫は捕まらないものという思いこみや、獣医院への運搬手段がないこと

その結果、野良猫が増える要因となっています。

猫による糞尿などによる苦情側と給餌者とが、「排除!」「餌やり禁止」という一時しのぎ的な対応がこの問題を長引かせています。挙句の果てには、給餌者は未手術の猫を放置したまま4回も引っ越しをするケースもありました。

- やさしさだけで猫にかかわる人や、地域社会に全く無関心で関わる人が多いように思います。
- 猫の飼主、餌やり、苦情側も昔の感覚での関わり方では何も解決しません。
- 法律・規則を知っていただき、周辺に配慮しながら、対応策を一つずつ皆さまと共に取り組んでいきたいと思っています。

## ○捕獲器貸出し大忙し 12台の捕獲器、貸出しに奔走!



一方、猫に対する意識・知識への変化でしょうか、今までは無かったような捕獲器貸出しの依頼は、秦野市内は勿論、平塚市、愛川町半原、伊勢原市、厚木市、二宮町、中井町、大磯町、海老名市、座間市と広範囲になっています。

◇不妊・去勢手術の必要性が周知され始め、市民の皆さまの自発的な動物愛護に対する関心が高まってきていることを実感しています。

## ■青少年の動物愛護精神育成事業 (相手を思いやるやさしい心の育成)

### ○神奈川県動物保護センター見学 平成27年8月2日



秦野市内の中学生徒さん他、厚木市内の高校生も参加してくれました。犬が収容されている地下室では少し緊張気味だった生徒さんも、犬のふれあい広場では子犬を抱いたりリラックスし楽しそうでした。猫部屋では、犬のように触れ合うことはできませんでしたが、次の見学を促されるまで、ケージ越しに猫と戯れていた様子でした。

### ★生徒さんの感想の多くは

「なぜ最期まで飼えないのか?だったら最初から飼わなきゃいいのに。」と、無責任な飼主に対し憤りの意見が多くみられました。



## ○総合学習・講演「動物との共生」について 秦野市立南小学校6年2組 平成27年12月8日



総合学習の時間に、6年2組の生徒さんが、神奈川県動物保護センターを見学した時のタイトル「命はおもちゃじゃない」をまとめてくれました。

更に動物と共に生きるには、自分たちに今何ができるのか?と言ったことを考えるヒントとして、当会の活動内容や動物たちが置かれている現状などを話しました。

### ■ついで、平成28年1月25日

秦野市立南小学校「命の授業」では、会が作成した紙芝居「ほんとうに飼えるかな?」を生徒さん方に実演してもらいました。その後、自分たちの考えをそれぞれのブースに分かれ、体育館にて発表してくれました。

(一部画像)



●感想には、動物にも私たち活動者に対しても、思いやりの心を感想に書いてくれました。

■小さな命への思いやりの心は、お友達に対しても、将来までも持ち続けてくれることでしょう。

## ○福祉講演会にて 秦野市立南中学校1年3組 平成28年6月9日

福祉授業では、「感情、一人ひとりの命の重さを」をテーマにプロジェクターを使い、活動経験を通して動物たちの置かれている現状を1時間、講演をさせて頂きました。

### ●生徒さんの感想(抜粋)

\*犬や猫でも感情がある事を改めて分った気がした。これからも今日の話を活かして生活してゆきたい

\*仔犬や仔猫の可愛さを使って、売り飛ばしているペットショップに嫌な感じがした。

\*世の中には責任が持てない人が多すぎると思う。そのせいで、犬や猫が辛い思いをしている事にも気づいてない人が多いと感じた。

\*6年生の時にも動物愛護の事を佐藤さんから教えて頂いたが、今日は画像を見てとても悲しい気持ちになった。動物を飼うには中途半端な気持ちではだめなのだ良く分った。

\*命の尊さを改めて学び一人一人が大切な命なのを学んだ。犬や猫を飼う時は最後まで大切にできるかどうか考えてから飼いたい。



### ◇校長先生から

「普段の生活では余り感じる事の出来ない一人ひとりの命の尊さについて思いをはせる事ができたようです。命の重さだけでなく、社会問題や共生についても考えるかけがえのない時間を作る事が出来ました。今後も自他を大切にし、自ら前向きに挑戦する生徒の育成に力を注いでいく所存でございます。」と、お礼文をいただきました。

イベント事業

○動物フェスティバル2015inはだの ～ともに生きる～ 平成27年11月3日



●場所は文化会館小ホールと特設会場にて、秦野市「市民の日」と同時に開催されました。

共催：神奈川県、秦野市、平塚市、伊勢原市、大磯町、二宮町、(公社)神奈川県獣医師会、(公財)神奈川県動物愛護協会

(事務局：秦野市こども健康部健康づくり課)

●この催しは、広く県民に、命あるものである動物を愛する気風を高め、適正な飼養についての関心と理解を深め、また動物だけでなく、生物全般にも目を向けそれに伴う環境に関しても関心と理解を深める事を目的に開催されています。

★この日は、バザー品販売と保護猫の譲渡会を行いました。

◎売り上げ報告です。

バザー売り上げ(65,100円) 募金(54,646) = 合計119,746 となりました。

バザー品のご提供や募金をいただきました皆さま方に、この場をお借りし深く御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

★この日、文化会館小ホールにて(公社)神奈川県獣医師会より、ハーモナイズ賞をいただきました。

表彰

昭和58年に個人の活動として発足。迷い犬の保護と新しい飼主への譲渡活動を開始。「保健所の犬猫の譲渡を推進する会」を中心に活動。平成16年には「相模どうぶつ愛護の会」を設立し、秦野市菩提に動物保護施設を開設。本格的な野良猫対策に取り組み、猫の去勢及び避妊手術の推進、啓発活動。又、県内の小学校、中学校、高校、老人施設にて、「みんなが幸せであるために」「動物との関わり方」「命の重さ」等をテーマに講演会や紙芝居等を通して、動物愛護精神をわかりやすく伝えてきました。現在も市民、行政、保健所、ペットショップ崩壊現場から行き場の無い犬猫を引き取り相談に応じ、新しい飼主を探す活動を続けています。こうした長年にわたる活動は、動物愛護の精神と飼育モラルの向上に大きく寄与し、人と動物が共生していく社会づくりに多大な貢献を果たしたと、評価を受けました。



■その他の活動

犬の飼い方改善についてアドバイス

一市民から、「某幼稚園で飼われている犬が炎天下であえいでいる。吠え声が可哀想でたまらない。」「毎日、こんな状態を見るのが辛い。何とか改善してもらえように話をして貰えないか。」という通報。

\* 某幼稚園長さんと面会することができました。環境省の「無責任飼主

ぜ口をめざして」のパンフレットをお渡しし、夏・冬の犬の繋ぎ場場所についてのお願いをしました。近隣からの鳴声の苦情に関しても、犬はストレスを感じれば、吠えるしかありません。口きけぬものへの思いやりなどの配慮をお願いしました。幼稚園側は、「子どもの無知でした。ご近所からも鳴き声に関してはうるさい！」という意見をいただいております。できる限り改善してゆきます。」と、快く聞き入れていただき、その後、改善されました。

♪♪ 幸せ便り ♪♪



ナツとハナです。家族みんなが目を離せなくなり、猫中毒になってます。



さくらは甘えん坊。ももはさくらが甘えている様子を見ながら「触ってもいいわよ」です。家族みんな笑顔いっぱいです。



杏(あん)と名付けました。先住猫も、初めはシャーしていましたが、最近は近寄る杏に少しかまって甘噛みしたりするようになりました。



家族みんなすごく可愛がってます! (\*´ω`\*) 名前はモカです!! ご飯もよく食べて、良く寝て、良く遊びます!



『なつ』は4日前にきた男の子と激しい遊びの毎日です。最初は心配してましたが負けずにかかっていって。まだオッパイ恋しで、眠くなると男の子のお腹をチュウチュウするので、寝る時、男の子に洋服を着用させてます。



はじめて京都までの長距離ドライブでした。酔い止めを使うこともなく、一番良い子にドライブを楽しんでいました。♡(子どもたちより一番良い子でした)



フェリモン様のサイト拝見しました。我が家の事を取り上げて下さり有難うございます。空もレオも「小さかったんだあ」と懐かしく思いました。最近の写真、2匹ともすっかりおデブ猫になってしまいました…



この子(ベンツ)が加わって、4人兄弟になった様な騒ぎです。トリミングは長男の役目です。腕前は大きいものです。



ドレミは、ご飯は次の日から食べるようになりました。まだ人見知りしています。



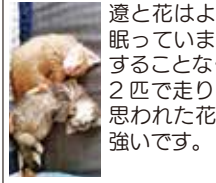
獣医師の紹介で、バザー会場で頂いた花の駅のKです。家の中を元気に飛び跳ねています。



今までの時間を取り戻すべく4人目の赤ちゃんと思って一から育て直します。ちびちゃんやナルのように怪我や病気がある場合には、私自身もそいう問題に関心を持つようになり、ちびちゃんのご縁に本当に感謝しています。



よく食べ、遊び、眠るいい子です。とっても元気で、相変わらず、指をチュウチュウする甘えん坊ですが、先日は、一日一人でお留守番もできました。虎太郎のお陰で家族の会話も弾んでいます。




遠と花はよく食べ、よく動き、よく眠っています。トイレも一度も失敗することなく出ています。2匹で走りまわったりと、神経質と思われた花は、好奇心が強く、気も強いです。



豆姫は食欲があり、しっぽをよく振ってくれ、甘えた声(キューンキューン)で鳴いてくれます。ペットショップで7年間不幸だった分、幸せにします。

	県の収容施設からの様子と違って、最近のミオは、おいかっこや先住猫とベランダで日向ぼっこ。一緒に寝ています。「ごはん」と言う言葉を言えたので、ごはんとごはんを催促します。		こんなに元気な女の子ははじめてです。家中を飛び回っています。手足に噛みつきませす。
	小田原保健所経由で8才の時、一時預かりさんから11才で我が家の子になりました。1日3回は散歩に出ています。朝は6時にはじまり、良く歩きます。夜は良く寝てくれます。		左・風はこわごわ美容室に現れますが、先住猫嵐が付き添うと気強くなり、オモチャにじゃれついて遊んでおります。抱き合ってお昼寝が日常茶飯事です。
	三匹とも、とても懐いてくれています。仕事から帰宅すると大きくなった体をスリスリさせる熱烈歓迎を受けます。「うちの子たちは美形揃いよ!!」と親ばかならぬ飼い主ばかりになって楽しんでおります。		何のお手伝いも出来ないまま平にご容赦下さいませ。紅緒もパロンも元気に暮らしております。パロンは10歳半、紅緒は9歳半になりました。6月に八ヶ岳麓の美しい森へ行ってきました。

	保護当初は2匹ともエイズでした。研修に来て下さった小学校の先生に貰われて1年が経ちました。先生から力強いお言葉をいただきました。 ***** 「まこ」は、随分と大きくなりました。良く食べ、良く遊び、良く寝ます。元気いっぱいです。「かこ」と「まこ」は、近所に信頼できる動物病院も見つけられ、安心して過ごしています。最近庭に首輪をつけた猫が遊びに来ています。暫く様子を見ていましたが、家に帰っていないようで、迷い猫かと思われませす。餌をあげながら飼主を見つけられるよう頑張ってみませす。「地域猫」の活動は、小田原の保護団体でも進められているようませす。行政がもっと動いてくれたらと思ひませす。とにかく、私に出来る事は、小学校の子どもたちに命を大切にすることを伝えていくことませす。今飼っている動物を最期まで育てること、救える命がそばにあり、助けをまっていること。根気よく教えていきたいと思ひませす。 会のことなど、お手伝いできることがあれば…!! お力になれば光栄ませす。
---	---

**秦野市猫適正飼養ガイドラインが完成します！** 秦野市健康づくり課 作成

ガイドラインは、猫の正しい飼ひ方、管理の方法、飼育するために必要となるルール、飼主や地域住民、動物病院やボランティア団体、そして行政が取り組むべき役割を明確化することにより、適正な飼育や動物愛護への理解を啓発し、人と動物との共生による心豊かなまちづくりを進める事を目的としています。

1 飼ひ猫の適正飼育 2 飼主のいない猫の適正管理 3 地域猫 4 秦野市が行う猫に関する取り組み  
5 市民の皆さんに協力していただきたいこと 6 緊急・災害時対策 などが盛り込まれます。

【平成27年度収支報告書】 (2015年4月1日～2016年3月31日)

単位：円

摘要	金額	備考
<b>前期より繰越</b>	42,851	
収		
事業収入	1,063,420	猫給餌者からの不妊去勢代
バザー売上金	66,600	バザー当日と、前・後に売上げた額
寄付・募金収入	514,883	
支援金	350,000	(株)フェリシモ基金様、はだの市民活動団体連絡協議会
受取利息・その他	40	
収入合計	2,024,943	
支		
愛護に関する支出	65,8430	病気・ケガ治療、フロントライン、血液検査、犬猫餌
不妊・去勢費	859,814	野良猫不妊去勢代
会報発行	54,000	平成26年度活動報告印刷代
活動費	30,000	3名
青少年動物愛護育成費	2,706	神奈川県動物保護センター見学
イベント経費	2,952	資料印刷代
広報費	46,720	パソコンソフト(t-com)、パソコン管理代、修理代
事務用消耗品費	17,559	インクジェット、宛名ラベル
消耗品費	40,200	イーゼル、透明ビニル、展示用デスク、洗濯ネット(猫捕獲用)
交通費	9,030	保護猫犬を運搬する際のガソリン代、高速代
通信費	125,387	電話代、郵送代
水道光熱費	61,497	電気、ガス、上下水道費
諸会費	1,000	はだの市民活動団体連絡協議会会費(H27年度分)
支出合計	1,915,475	
<b>次期へ繰越金</b>	<b>152,319</b>	

ご寄附いただいた皆さま (敬称略・順不同)

(株式会社)フェリシモ基金事務局 竹内久美 岩上和子 山元十志子 牧田ちさと 森本直子 岡田 カワベハルエ 持田晶子 兼山佳子 山口育久子 ハタケヤママサイチロウ 小島 吉岡 清田遠子 酒井みさを 中沢信夫 小田幸子 露木 石田 城所垂紀 河野八重 鹿島 橋本仁香子 板垣暁子 松山勇 原田恵子 小山信子 松井幸子 三川真奈 清水郷里 鍛代ゆう子 高橋真理子 中森学 奥松 橘川真弓(切手)



★ご寄附・バザー品をお寄せ下さった方々のお名前です。ご支援、誠にありがとうございました。当方の手落ちで記入漏れやお名前間違いなどございましたら、事務局までご連絡をお願い致します。

## ■ポスター(耐水性用紙)の掲示に ご協力をお願いします！

この地域に犬や猫を捨てる犯罪行為が多発しています！

# 捨て犬、捨て猫は 犯罪です!!



動物の愛護、及び、管理に関する法律により  
100万円以下の罰金が科せられます！

みなさまの目撃情報をお知らせください！

相模県どうぶつ愛護の会

警察署警察課

警察署

●はだの市民活動団体連絡協議会が主催する10万円サポート事業を受ける際、支援事業審査委員から「某地に、市外ナンバーの車が犬猫を捨てに来るので困っていると聞くと、相模の会ではどんな対応をして貰えるか？」との質問に対し、「ポスターを作成し、一般市民に周知させ対応します。」という回答いたしました。

※「動物の愛護法」に謳ってありますように、犬・猫を捨てることは犯罪行為です。

※捨てる事にならないよう、不妊・去勢手術の必要性を広く周知し、抑止効果アップを図るため、秦野警察署、秦野市の連名で300部を作成させて頂きました。

\* \* \* \* \*

8月21日現在、県立秦野戸川公園3部、警察署2部、神奈川県動物保護センター7部、自治連合本町地区会長3部、湯の沢25部、曲松商店街3部、獣医院1部、秦野市自治振興課30部(各公民館・図書館・秦野市文化会館)、菩提15部(悠遊会)、柳町商店街15部に掲示のご協力をいただきました。心より御礼を申し上げます。

◇今後も掲示させて頂ける個人宅や商店など募っております。よろしくお願い致します。

動物を捨てない 逃がさない ふやさない 飼ったら最後まで愛情と責任をもって飼う。

## 新しいまちづくり「野良猫」～「地域猫」に！

猫は人のいるそばで暮らします。

命あるものを排除で解決はしないでしょ。

猫が好きの人、嫌いな人、被害を受けている人、無関心な人も皆さんが集まって

猫をめぐるトラブルをなくすための話合いや

ルールを決めることは、ひいては、

住みよいまちになっていくのではないでしょう。

※地域猫と位置付けて、責任の所在を明らかにして  
トラブルの減少を図ることが重要と思います。



相模どうぶつ愛護の会

257-0003 秦野市南矢名1130-102

Tel / Fax : 0463-76-0015

<http://sagamidoubutsu.web.fc2.com/> Eメール : [animal@tbn.t-com.ne.jp](mailto:animal@tbn.t-com.ne.jp)

編集 : 佐藤桂子